

AVM-P7000

取付説明書

本製品はEIAJコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

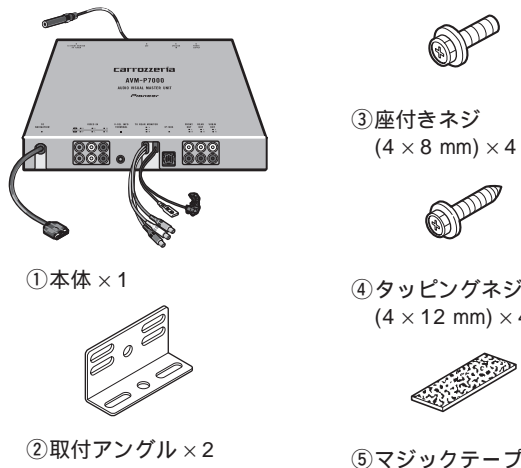
この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 1999

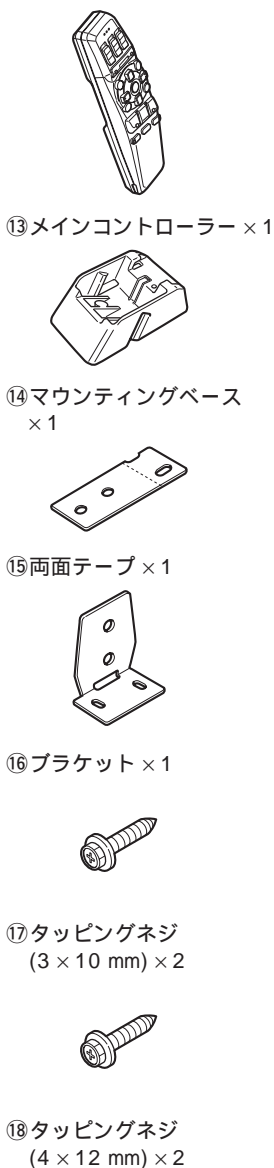
< 99C00F0T01 > < CRA2701-A >

はじめに 1 接続・取り付け部品を確認する

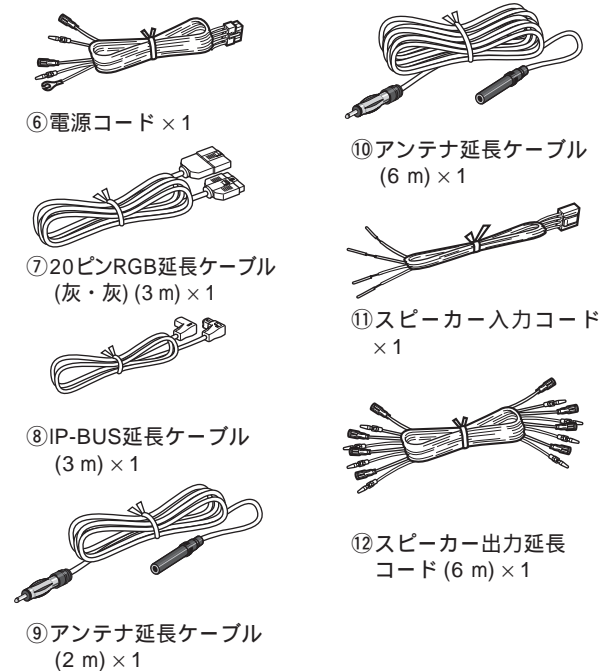
本体関係



メインコントローラー関係



コード関係



組み合わせ 1 システムの組み合わせ

システム一覧表

このシステム一覧表は、カーステレオの取り付け位置（コンソール）にDサイズで2台分の取り付けスペースのある車種が対象です。2台分の取り付けスペースがない車種や、3台分まで取り付けスペースがある車種のシステムについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

○ 印：
組み合わせで使用することができます。

	本機 (AVM-P7000)	AVシステムTV/CDプレーヤー (AVX-P7000CD)	マルチCDプレーヤー (CDX-P650)	マルチCDプレーヤー (CDX-P620S)	IP-BUS拡張アダプター (CD-P33)	ボイスコントロールディスプレイセレクター (MDS-P7000)	マルチMDプレーヤー (MP-P100II)	内蔵アンプ+フロントスピーカー	外部アンプ (GM-X9200)
組み合わせ例 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
組み合わせ例 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○
組み合わせ例 3	○	○	○	○	○	○	○	○	○
組み合わせ例 4	○	○	○	○	○	○	○	○	○
組み合わせ例 5	○	○	○	○	○	○	○	○	○

□ 印：
マルチCDプレーヤーによっては、IP-BUS拡張アダプターと組み合わせると複数台接続できます。接続できる台数については、IP-BUS拡張アダプターの説明書をご覧ください。(マルチCDプレーヤーが1台のときIP-BUS拡張アダプターは必要ありません。)

接続 1 接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機と他の製品では同じ動きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ動きのコードどうしを接続してください。

赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。

黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。

本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力45 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 から8 のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。

ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青リード線（オートアンテナ）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。(ラジオがONにならないと、ブースターがONにならない車もあります。) 詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

長さが足りない場合は、⑩アンテナ延長ケーブル (6 m) をご使用ください。6 mを使用した場合、電波が弱い所では、AM放送受信時に2 mを使用した場合と比べノイズが増えたり聞きづらくなる場合があります。

接続のポイント

IP-BUSの接続について

IP-BUS端子とIP-BUSケーブルは、同じ色どうしを接続してください。(コネクタの接続部分が色分けされています。)

電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

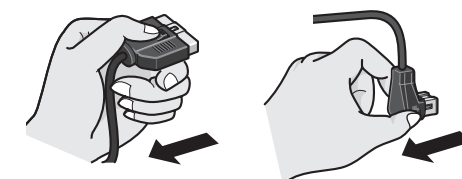
ノイズ防止のために

アンテナコードは、20ピンRGBケーブル、IP-BUSケーブル、スピーカーコード、および電源リード線と束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

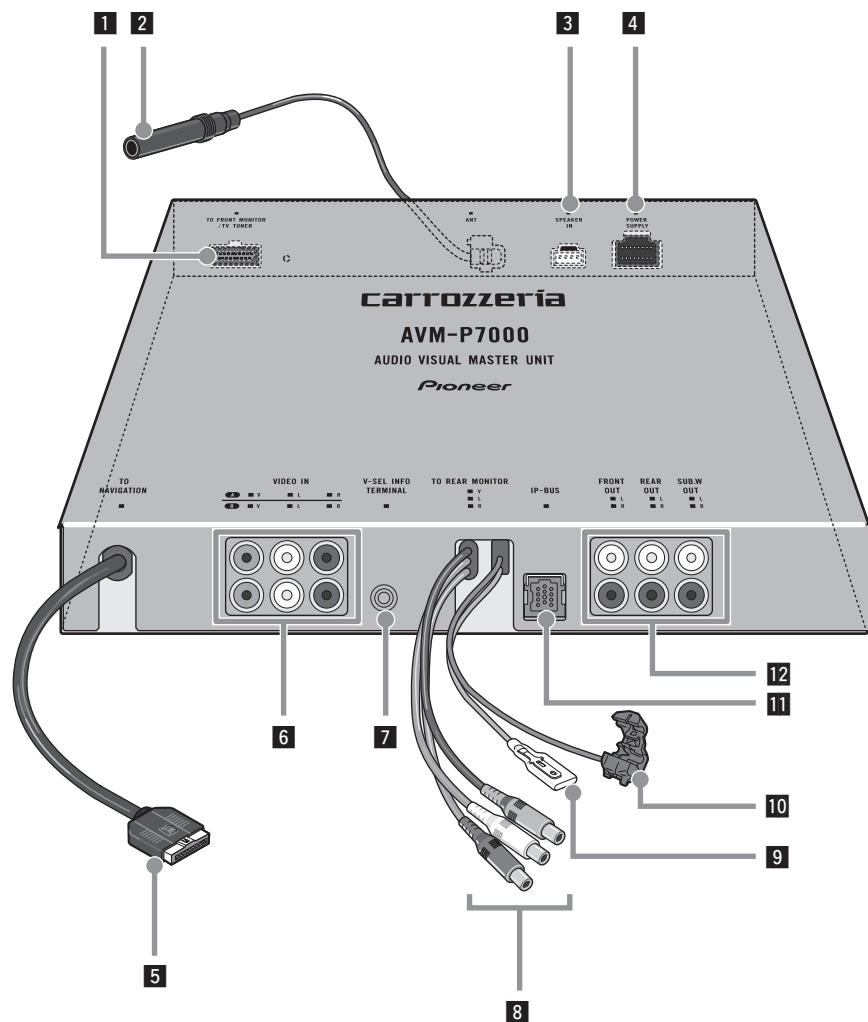
ナビゲーションと組み合わせる場合、TVアンテナおよびアンテナコードは、ナビゲーションアンテナやナビゲーション本体からできるだけ離して配置してください。

コネクタの着脱のしかた

コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



本体



- 1** 20ピンRGB出力 (黒)
モニターやTVチューナーのRGB入力に接続します。
- 2** アンテナ接続端子
付属のアンテナ延長ケーブルを使用して、カーアンテナプラグと接続します。
- 3** スピーカー入力
付属のスピーカー入力コードを使用して、スピーカー出力付きカーステレオ (純正カーステレオ) と接続します。
- 4** 電源
付属の電源コードを使用して、車のバッテリーから電源をもらいます。
- 5** 20ピンRGB入力 (黒)
パイオニア製のDVDナビゲーションシステム (例: 「AVIC-D919」) を組み合わせるときに使用します。
- 6** RCAビデオ入力A、B (黄)
RCAオーディオ入力A、B (白・赤)
8 mmビデオやポータブルビデオなどを2台まで接続することができます。また、DVD以外のナビゲーションシステムと組み合わせるときは、ここに接続します。
- 7** V.SEL端子
V.SEL端子のあるモニターと組み合わせるときに使用します。

- 8** RCAリアーモニタービデオ出力 (黄)
RCAリアーモニターオーディオ出力 (白・赤)
リアーモニター (後部座席専用モニター) 用の信号が出力されます。後部座席に設置するモニターの入力端子と接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

この端子に接続したモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

- 9** ナビゲーション用ミュート端子
パイオニア製のミュート端子付きのナビゲーションと組み合わせるときに使用します。

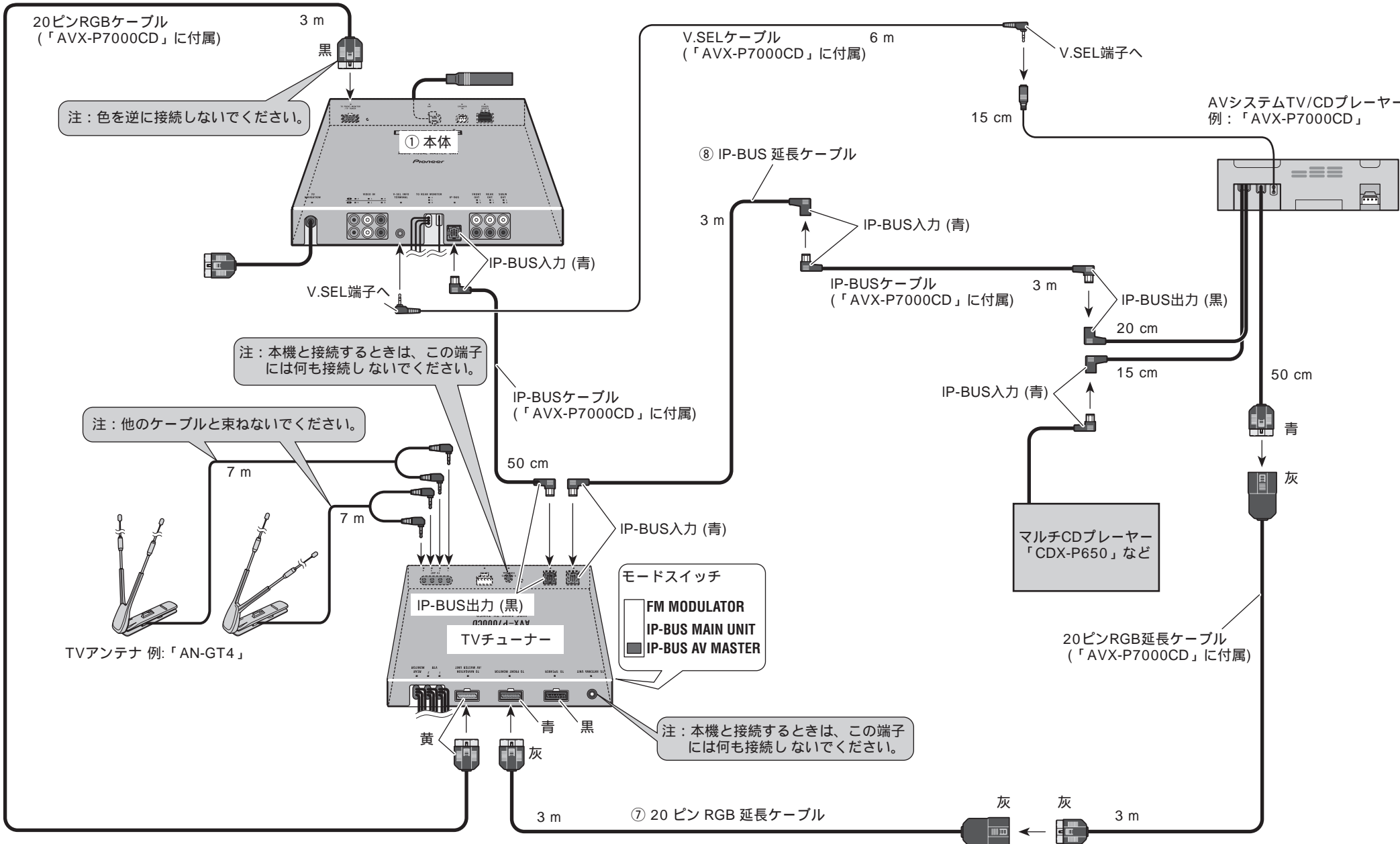
- 10** パーキングブレーキ入力
車が停車していることを確認するために使用します。

- 11** IP-BUS入力 (青)
IP-BUS出力のある製品を接続します。

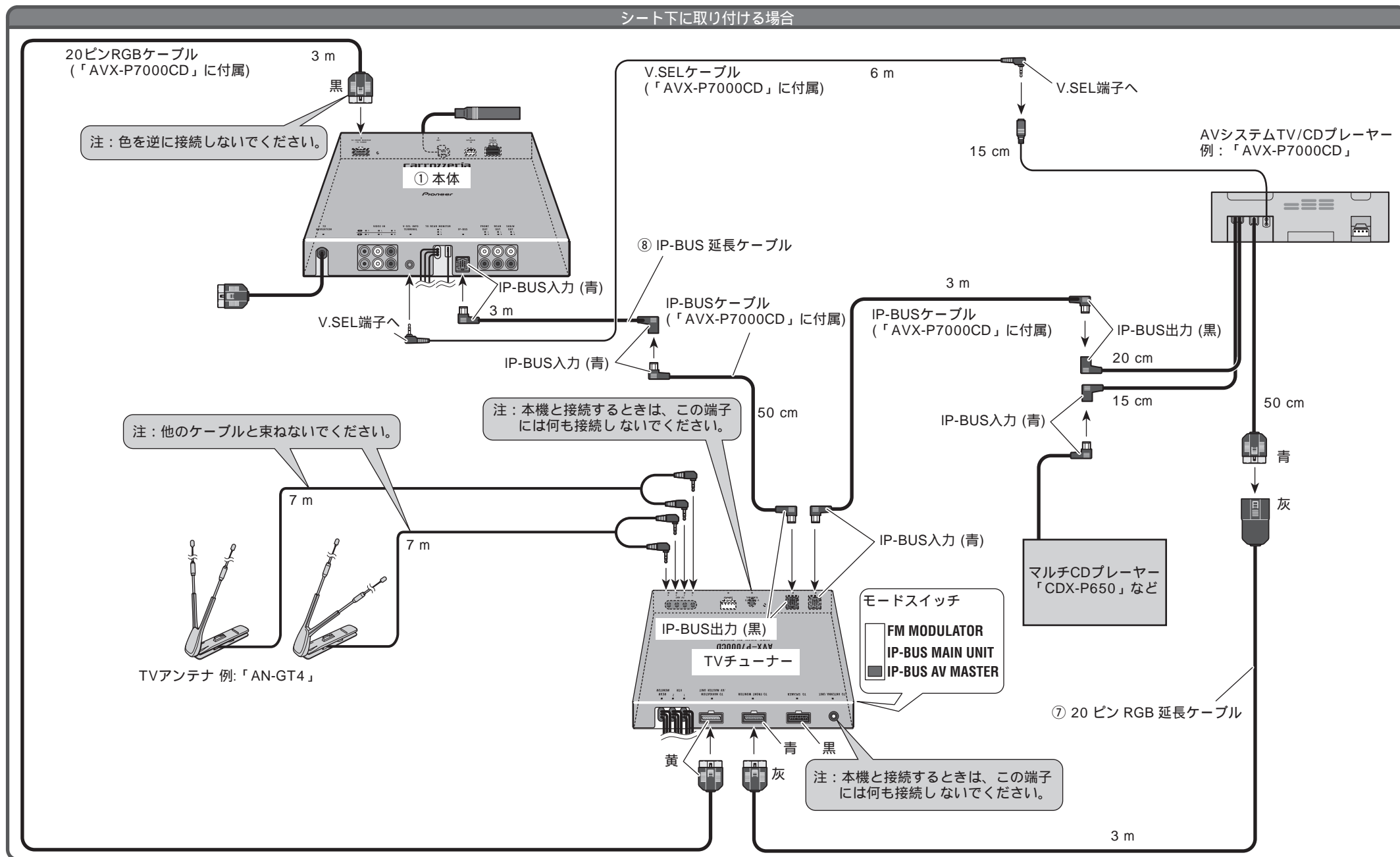
- 12** RCAフロントオーディオ出力 (白・赤)
RCAリアーオーディオ出力 (白・赤)
RCAサブウーファーオーディオ出力 (白・赤)
RCA入力のある外部アンプと組み合わせるときに使用します。

—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—

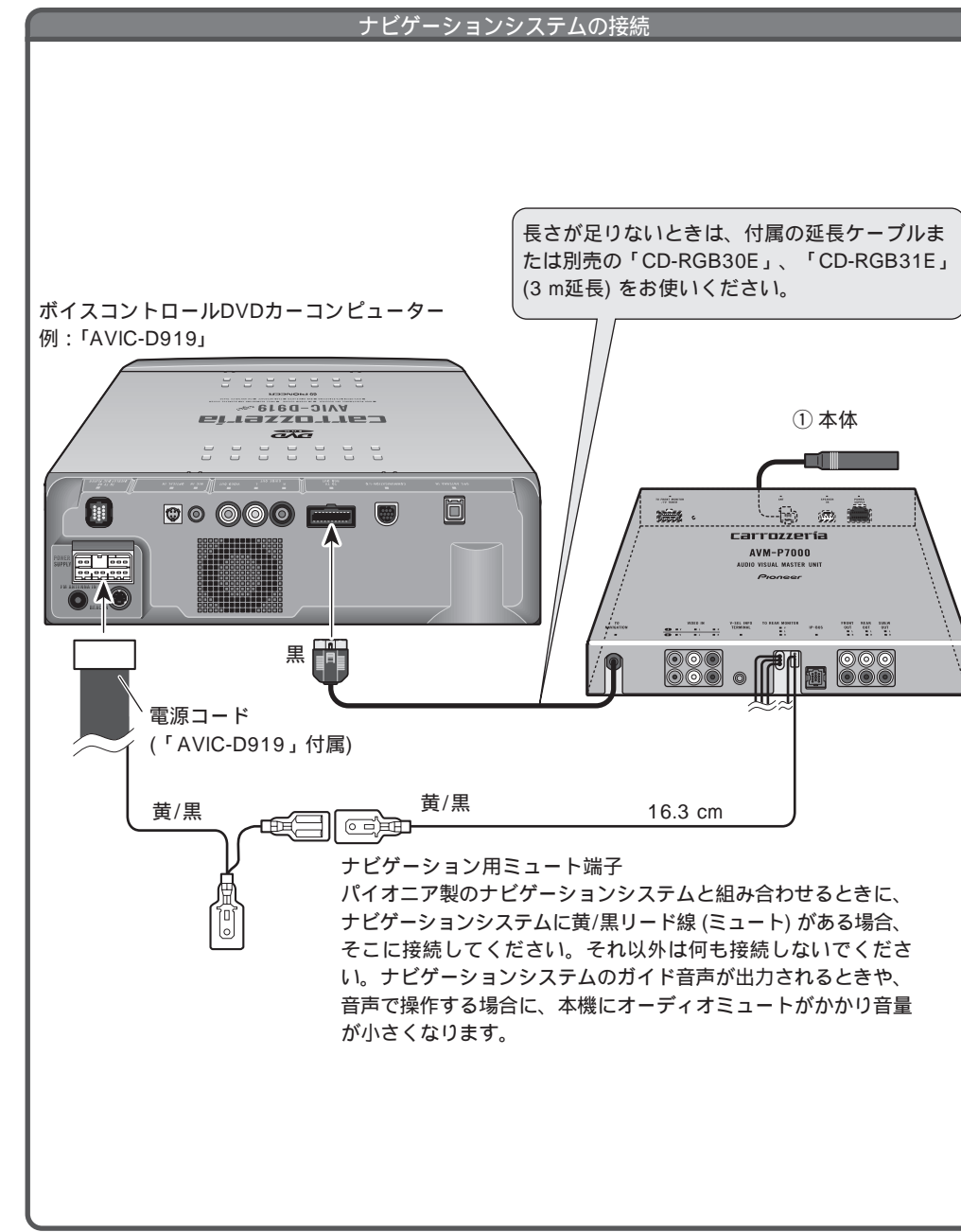
本機とTVチューナーをトランクに取り付ける場合



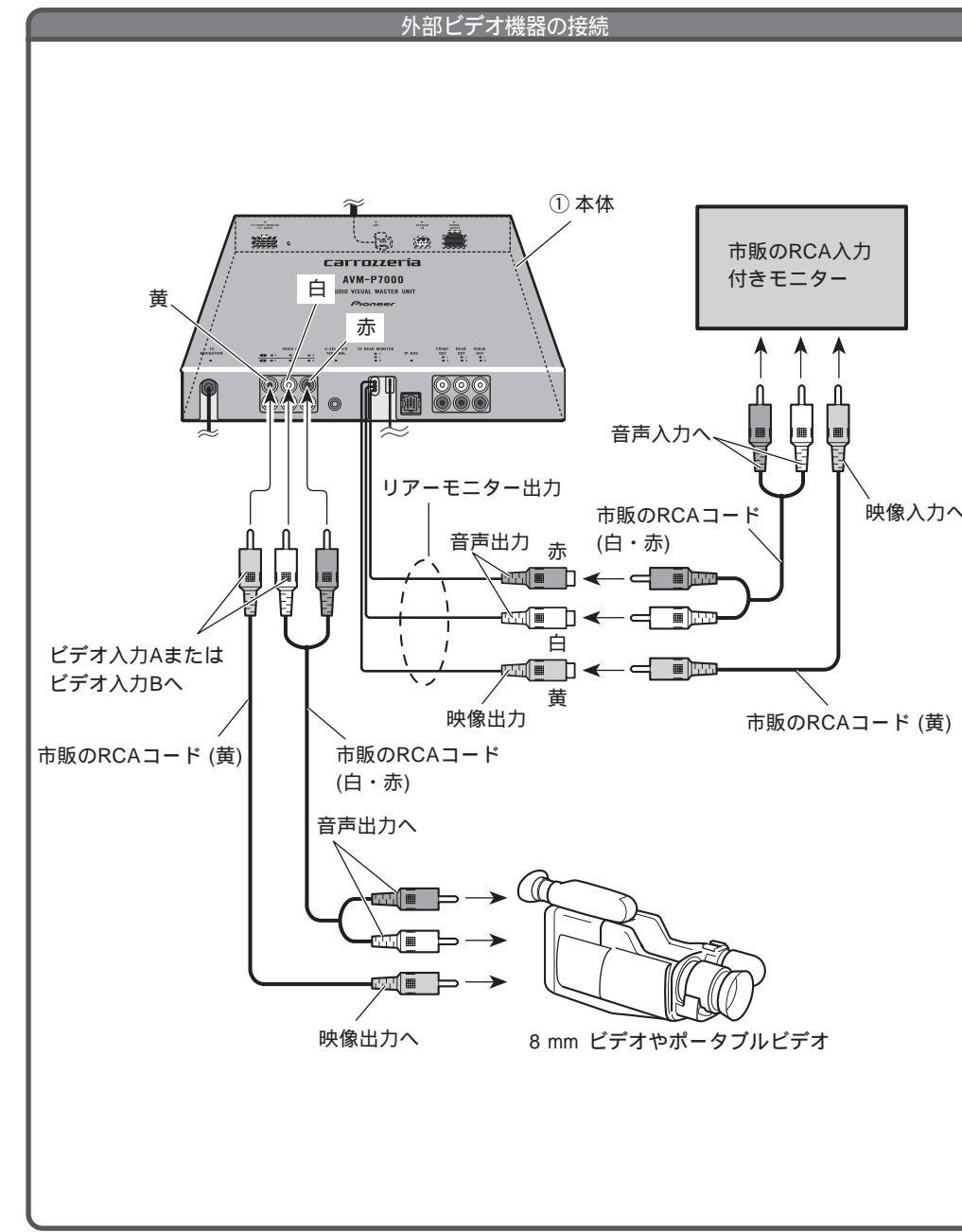
—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—



—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—



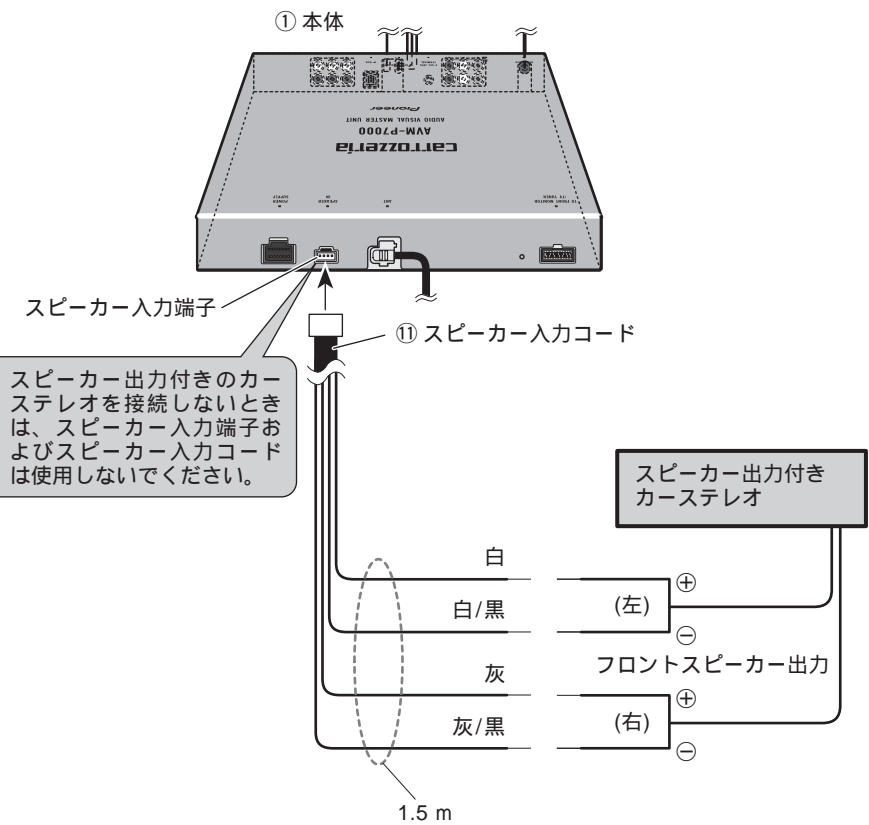
—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—



—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—

スピーカー入力の接続

スピーカー入力の接続は、必ず販売店にご依頼ください。
スピーカー入力、カーステレオのフロント側のスピーカーコードと接続することをお勧めします。



注：スピーカー出力付きカーステレオを接続しないときは、スピーカー入力端子およびスピーカー入力コードは使用しないでください。

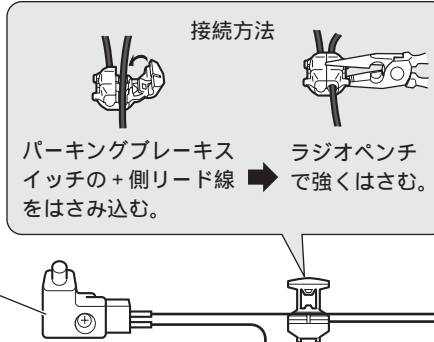
スピーカー出力付きカーステレオ

—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—

電源/アンテナの接続

注：このリード線の接続を間違ったり、忘れてしまうと、テレビやビデオの映像を見ることができなくなります。

パーキングブレーキスイッチの位置は、車種によって異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。



接続方法
パーキングブレーキスイッチの+側リード線 → ラジオアンテナで強くはさむ。
をはさみ込む。

ミュート
パイオニア製の自動車電話などの別売製品と組み合わせるときに、別売製品からの信号によって本機の音量をコントロールするために使用します。(別売製品からのコントロール信号が入力されると、本機の音量が自動的に“0”になります。)
組み合わせた別売製品に黄/黒リード線 (セルラーミュート用またはミュート用) がある場合は、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

オートアンテナ
オートアンテナのON/OFFをコントロールするために使用します。(ラジオ/テレビがONになるとコントロール信号が出力されます。) 車側のオートアンテナのコントロール端子に接続してください。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。) また、ガラスアンテナ車の場合は、アンテナプスターの電源端子に接続してください。上記以外は、何も接続しないでください。

イルミ電源
車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路 (時計の照明回路やモールランプ回路など) に接続してください。

アース
車のボディの金属部に確実に接続してください。

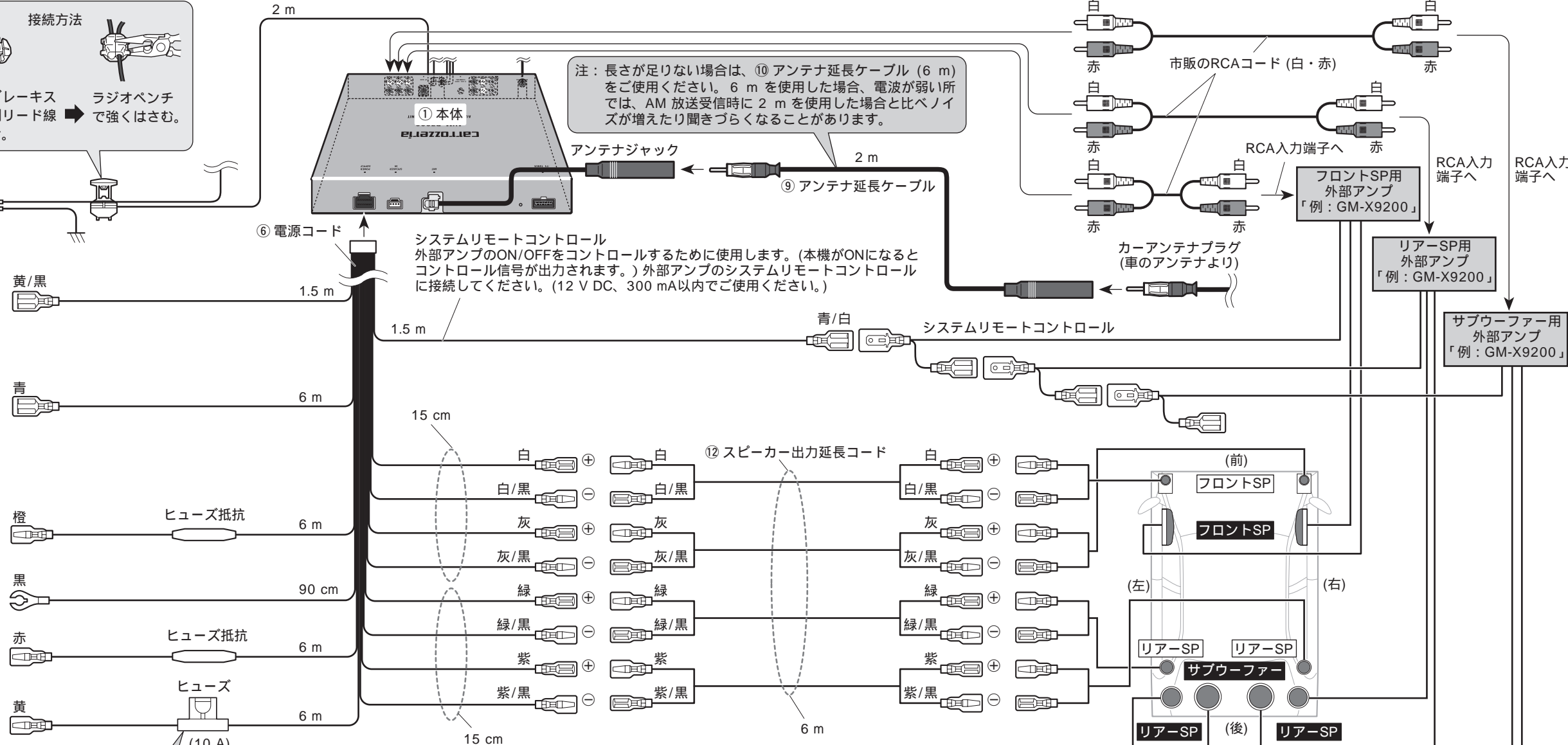
アクセサリ電源
車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

+ バッテリー電源
車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

注：赤、黄、橙リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。



注：長さが足りない場合は、⑩ アンテナ延長ケーブル (6 m) をご使用ください。6 m を使用した場合、電波が弱い所では、AM 放送受信時に 2 m を使用した場合と比べノイズが増えたり聞きづらくなる場合があります。

システムリモートコントロール
外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。(本機がONになるとコントロール信号が出力されます。) 外部アンプのシステムリモートコントロールに接続してください。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)

カーアンテナプラグ (車のアンテナより)

リア-SP用外部アンプ 「例：GM-X9200」

サブウーファー用外部アンプ 「例：GM-X9200」

フロントSP (前)

フロントSP

リア-SP (左)

リア-SP

サブウーファー

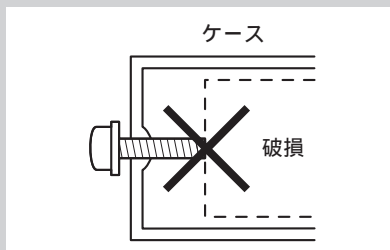
リア-SP (後)

リア-SP

取付 1 取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

必ず付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。



助手席にエアバックなどの安全装置装着車の場合は、安全装置の作動に支障のないようご注意ください。

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

ノイズ防止のために

アンテナコードは、20ピンRGBケーブル、IP-BUSケーブル、スピーカーコード、および電源リード線と束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

ナビゲーションと組み合わせる場合、TVアンテナおよびアンテナコードは、ナビゲーションアンテナおよびナビゲーション本体からできるだけ離して配置してください。

TVアンテナの取り付けのしかたによっては、AM放送に雑音が入る場合があります。TVアンテナは、TVアンテナの説明書に従って正しく取り付けてください。

メインコントローラーの取り付けのポイント

両面テープを貼り付ける前に

両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。

取り付け角度について

マウンティングベースは、メインコントローラーをセットしたときにメインコントローラーが水平または上向きになるように取り付けてください。

取付キットを別売しています

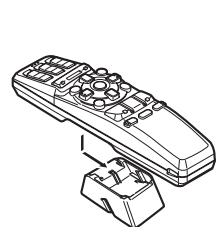
当社では、メインコントローラーを助手席のシートレールにアームで取り付けることができる、システムコミュニケーターマウンティングアーム「AD-R60」を別売していますので、販売店にご相談ください。

取付 2 メインコントローラーを取り付ける

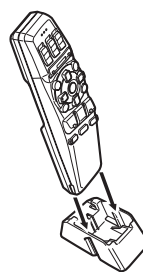
メインコントローラーのセットのしかた

“カチッ”と音がするまでメインコントローラーをマウンティングベースに押し込んでください。

横置きにセットする場合



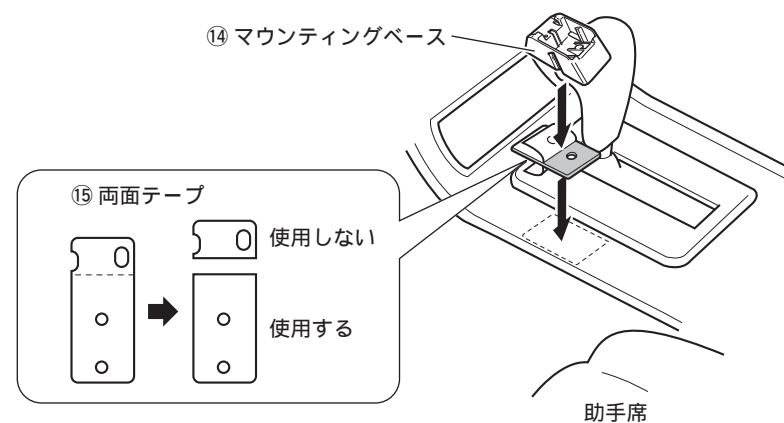
縦置きにセットする場合



マウンティングベースだけで取り付ける場合

1 マウンティングベースを取り付ける

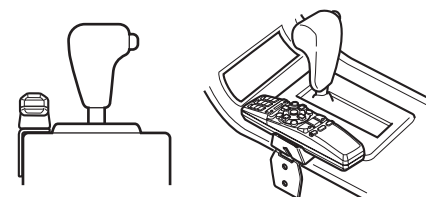
付属の両面テープを使用して、マウンティングベースを取り付け場所に貼り付けます。



ブラケットで取り付ける場合

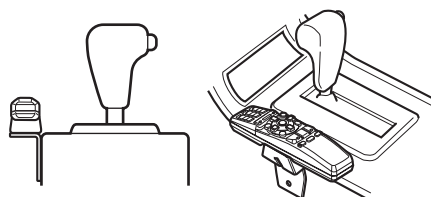
取付例1

センターコンソールの幅が広く、センターコンソール上にメインコントローラーの取付スペースがある場合の取り付けかたです。

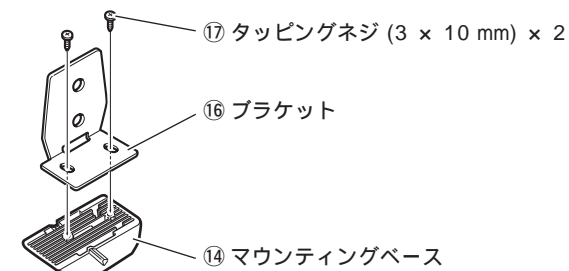


取付例2

センターコンソールの幅が狭く、センターコンソール上にメインコントローラーの取付スペースがない場合の取り付けかたです。



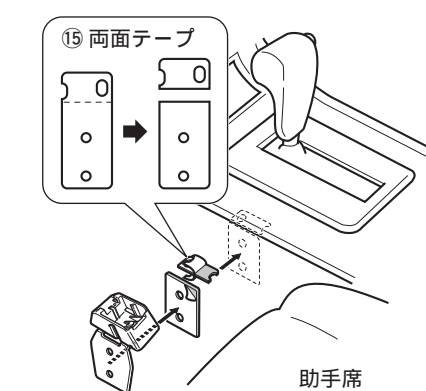
1 ブラケットをマウンティングベースに取り付ける



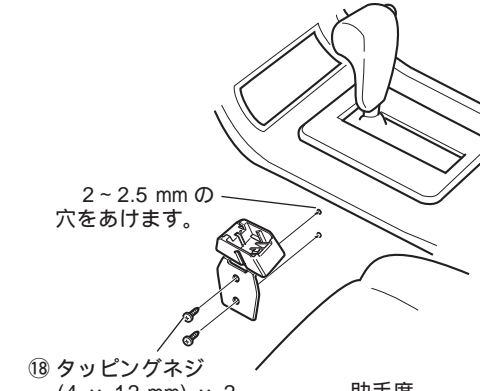
2 マウンティングベースを車両に取り付ける

付属の両面テープまたはタッピングネジで取り付けます。

両面テープで取り付ける場合

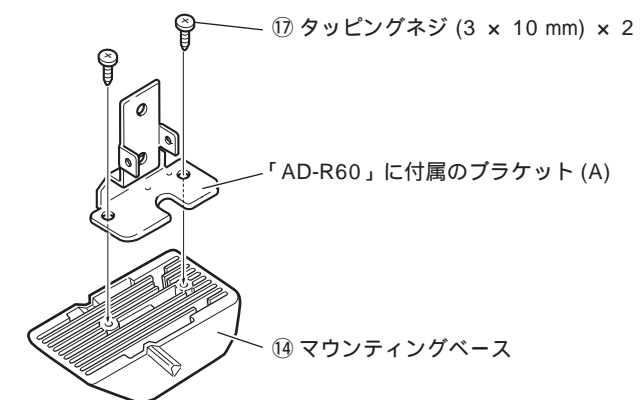


タッピングネジで取り付ける場合



別売のマウンティングアーム「AD-R60」を使用して取り付ける場合

1 「AD-R60」に付属のブラケット (A) をマウンティングベースに取り付ける

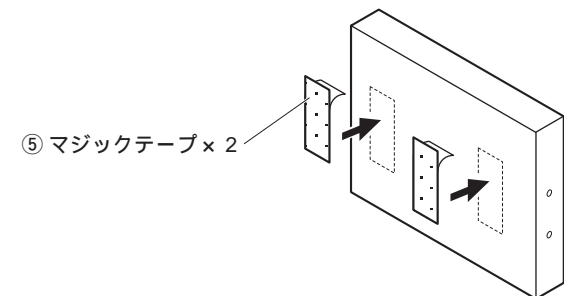
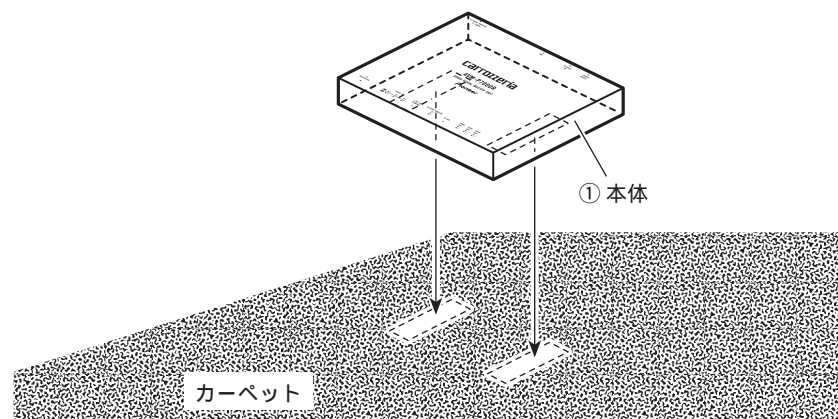


以降は、システムコミュニケーターマウンティングアーム「AD-R60」の取扱説明書を参照して、「AD-R60」を車両に取り付けてください。

マジックテープを使用して取り付ける

1 付属のマジックテープを本機の底面に貼り付ける

マジックテープを張り付ける前に、汚れをよくふきとってください。

**2** カーマットに直接張り付ける

取り付け上のご注意

次のような場所には絶対に取付ないでください。

- * ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光のあたる場所。
- * ヒーターの吹き出し口の近く。

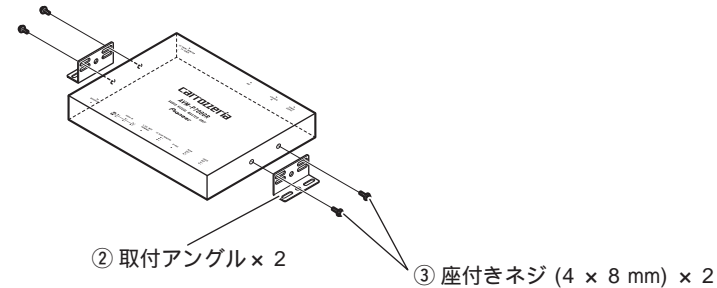
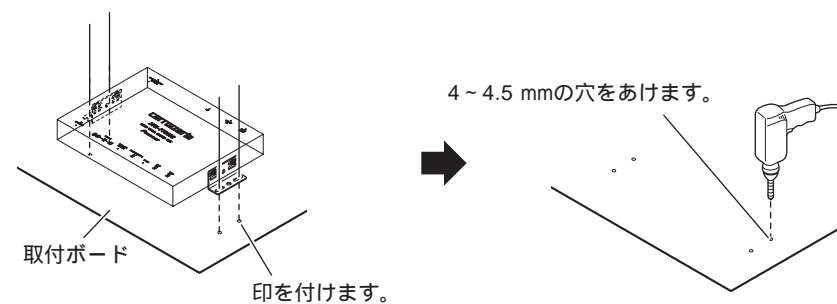
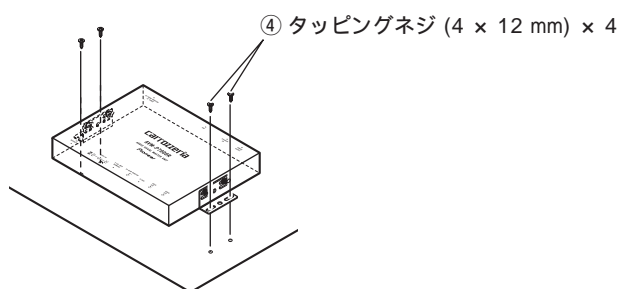
ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取付けないでください。

フロントシートの下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取付けてください。

取付アングルを使用して取り付ける

1 取付アングルを本機に取り付ける

本機を車に取り付けるために、取付アングルを本機に取り付けます。

**2** 取り付ける位置を決め、穴を開ける**3** タッピングネジで、しっかり固定する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

確認

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

3 本機の動作を確認する
(⇒ 取扱説明書)**2** 車のエンジンをかける